

# 寺井病院グループだより

寺井病院 地域連携室発行 923-1121能美市寺井町ウ84  
TEL 0761-58-5500 FAX 0761-58-6015  
<http://terai-hospital.jp/>



## 最近のニュースと暮らし

コロナ禍、円安、各種料金の値上げ(医療費の自己負担増も含め)など暮らしにくい世の中となっています。マイナンバーカードの普及を軸に、来年早々に電子処方箋など医療DX(デジタルトランスフォーメーション)が進められようとしています。それらの対応のため、職場が混乱し、患者さま、地域の方々にご迷惑がかからないようには思いますが、ある意味、社会のしきみを大きく変えなければならない限界点を超えているように思います。

私たちのめざすもの

患者・利用者に寄りそい、患者・利用者とともに困難に立ち向かいます。

専門性を高め地域に信頼される質の高い医療・介護を実践します。



病院長 島 隆雄

## 寺井病院・手取の里介護総合相談センター

～関わる人の人生を支えたい～

寺井病院グループにある居宅介護支援事業所です。要介護認定を受けて介護保険サービスを利用する上で、要となる役割をするのが私たちケアマネジャーの仕事です。その方の身体の状態や生活の状況を踏まえて、社会保障制度、訪問看護・訪問介護・デイサービスなどの介護保険サービス、地域での関わりやボランティアの活動、等々たくさんの情報の中から、その方に必要な支援と利用できる制度やサービスは何かを一緒に考え“住み慣れた地域で、自分らしく暮らす”を支えるお手伝いをしています。ケアマネジャーの質の向上は、利用者さん本人の生活の質に直結していると考え、定期的な勉強会、外部の研修にも積極的に参加して質の向上が図れるよう取り組んでいます。「ご縁があって、出会えた利用者さんの人生を支えたい、支えていこう」をモットーに頑張っています。



## ISO維持審査を受けました

当法人、石川勤労者医療協会は品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001:2015」認証を取得し、その要求事項に適合したマネジメントシステムを運用しています。今年9月28～30日にISO維持審査があり、寺井病院グループは28、29日の2日間受審しました。日々の各種サービスの流れや手順など点検をし、受審を迎えたのですが、審査員の方とのやりとりやラウンドに同行する中で、不十分な点、気づかされた点が多くあり、定期的に受審することの有効性を感じています。感染対策や安全管理をベースに、職員誰もが理解し行動できるようなシステムの見直しを図り、患者さま・ご利用者の方々が気持ちよく安心してご利用できるように、改善を重ねていきたい所存です。



# 「切れめない医療を地域に」を実現するためには

人工透析を必要とする方の退院支援は、週2回もしくは3回の通院手段や毎日の食事の確保等、退院調整に頭を悩ますことが多いのですが、今回スムーズに退院することが出来た事例がありましたので、ご紹介します。

担当したAさん(80歳)は、一人くらしで車の運転も出来ません。人工透析導入後、Aさんがスムーズに退院できたのは、家の近くに透析が出来る医療機関あり、NPO法人の移送サービスと連携できていたことが一番の要因と考えます。

Aさんの家の半径3km以内には銀行、スーパー、市の庁舎など必要な社会資源が揃っており、この移送サービスを使えば片道300円の料金で行けます。

また、能美市には調理困難で病態食の必要な要支援・要介護状態の方には1日1食のみ250円の配食サービス事業があります。自宅で調理することが難しいAさんにとって、とても有難いサービスです。

自分の家の近くに必要な社会資源があり、それを結びつける移送手段がとても重要であること、そして自分の住んでいる地域に充実した福祉サービスがあることの大切さに気づかされました。

Aさんに限らず、どんな状態になっても住み慣れた地域で自分の望む暮らしが続けられるように、日々患者さんとの関わりの中で見えてくる地域課題を自分の病院や行政にも投げかけ、「切れめない医療を地域に」の実現に向けて頑張っていこうと思います。

医療ソーシャルワーカー 新 栄治



## <医療ソーシャルワーカーにお気軽にご相談ください！>

当院では経済的な理由で医療にかかる機会が奪われないように無料又は低額で診療を受けることできる無料低額診療事業を行っています。対象は非課税世帯であるなど医療費の支払い困難な低所得者です。詳細は当病院医療ソーシャルワーカーにご相談下さい。

## 院内学習会

### 防災学習

去る8/4(金)と8/20(土)の豪雨を受けて、9/5の防災学習は「水害」をテーマに行いました。今回の集中豪雨では川の増水から田畑や道路が水につかっていく経過を見たわけですが、この経験と、2019/8九州北部豪雨の事例と比較しながら、適切に行動ができたのかといった振り返りや、課題を共有しました。毎年どこかで起こる自然災害に、油断はできないこと、高齢者の命を預かるものとして警戒態勢確立時の対応について学習しました。

### 医療安全

今回の安全学習は、「安全文化の基本」をテーマに行いました。「人は間違える」という共通認識のもとに環境や仕組みを変え、チームとしてエラーを減らす。その中で報連相は安全性の必須項目ですが、いかに報連相しやすい職場にするかを考えました。また、再発予防策の立て方についてもグループワークを通して学びました。



## 出前講座 健康チャレンジ

2年ぶりに出前講座に出かけました。今回依頼を受けたのは健康チェックで、フレイル予防をテーマに、フレイルチェックと理学療法士と管理栄養士による指導・相談を設けました。30人ほどの参加で、血圧とSPO2、握力や下肢筋力の測定、転倒や栄養状態のチェックを行い、どんな方法でフレイルを予防するかなど個別に相談。ワイワイとにぎやかな講座でした。

